

保健師コラム

(2024年 如月号)

はいたい！産業保健専門職(保健師)の千葉です。

2月10日は旧暦のお正月。沖縄は旧暦行事も大切にしている地域が多くありますが、改めて旧暦の新年も意識してみると、これから2024年が本格的にスタートするような感じがしますね。

さて、毎年3月8日は「国際女性デー」。女性が周囲の女性や自分自身を大切にすることを忘れないようにと意識をする日です。

労働力の44%以上を女性が占めている中、女性活躍推進やえるぼし認定など、働く女性の健康支援の取り組みを国も推進しています。ちなみに、女性が働きやすい企業であることを、厚生労働大臣が認定する「えるぼし認定」を受けた企業は、厚生労働大臣が定める認定マークを自社の商品などに活用することができます。そのことで女性の活躍が進んでいるとして、企業イメージの向上や優秀な人材の確保につながるなどといったメリットもあります。

沖縄県内でも現在19社が認定されていますよ。

女性の健康課題は、女性自身がヘルスリテラシーを高めて女性のこころと身体の健康について正しく理解することがとても大切です。そして、その受け皿である企業の理解は、女性がいきいきと働き続けられる重要なサポートになります。

働く女性への意識調査でも、「会社の健康サポートの満足度が高いほど、健康で働き続ける自信に繋がる」という報告があります。女性が企業に求める支援としては、「健診制度全般の充実・甲状腺や貯蔵鉄など女性に特化した健診項目の拡大」「自由度の高い勤務制度」「周囲の同僚や上司から理解を得らえる雰囲気づくり」が上位に挙がっていました。(「働く女性の仕事と健康に関する調査」2019年日経BP総研メディカル・ヘルスラボ)

女性にとって職場の健診制度や勤務制度の充実が大きなサポートになることはもちろん、職場全体のヘルスリテラシーを高める研修の実施が求められています。

一人で抱え込まず女性の健康についての情報交換や、課題を共有し話し合える社会が当たり前になっていくためには、「まずは正しく知ること」から。女性だけではなく、男性にとっても働きやすく働きがいのある職場づくりをスタートさせていきたいですね。

働く女性のこころからだ応援サイト：[働く女性の心とからだの応援サイト \(mhlw.go.jp\)](https://mhlw.go.jp)

当センターでも女性の健康支援の研修を今後も予定していますので、ぜひご参加ください！

(沖縄産業保健総合支援センター産業保健専門職 千葉 千尋)